

安全・適正就業委員会だより

■ 安全パトロール巡回の様子



屋内清掃



馬房清掃



除草作業



文書配達

■ 当センターにおける事故発生状況（平成27年9月1日～平成27年11月30日）

安全・適正就業委員会としては、事故減少の取り組みとして安全・適正就業パトロールおよび安全講習会等を通じ、就業時および就業途上での事故防止に努めていますが、残念ながら2件の事故が起きました。

万一事故に遭ったときはすぐにセンターに連絡をし、その指示に従って対処してください。その後、会員は速やかにセンター備え付けの「事故連絡票」の提出を行ってください。なお、「事故連絡票」はセンターホームページ「事務局だより」の「所定用紙の出力」からも入手できます。

- 剪定作業・・・就業中、軽トラックの後部ガラスを破損した。
当日は気がつかなかったが、剪定した枝幹を軽トラックの荷台に積みこむ際に足で踏みつけたので枝幹が後部ガラスに当たったものと思われる。
- 除草及び剪定作業・・・就業中、発注者宅の雨樋を破損した。
草刈機（ベルト）を使用して庭の芝生の除草作業をしたとき、窓側はガラス戸のシャッターを下ろし、外側（道路側）は車や通行人の保護策としてネットで養生対策をとり作業したが、3週間ほど過ぎたころ雨樋に穴があいていると発注者から連絡があった。

事業委員会だより

■ 堆肥化事業から

担当理事 音羽 豊

昨年の堆肥化事業を紹介する中で、まず大切なことは堆肥班員12名全員事故もケガもなく安全第一で就業できたことです。

その他の紹介をしますと

- (1) 炭焼き窯のビニールハウスが再生できました。会員の方の紹介により無償で都合いただいたパイプを使用し新品同様に仕上がっています。
- (2) 剪定材に使用する粉砕機の修理により作業の安全化と同時に処理能力が改善できました。
- (3) 草堆肥を光台の公園で使用いただき住民の方々に大変喜んでいただきました。
- (4) せいか祭りで2kg入りのシルバー堆肥200袋を無償で配り、来場者の方々に喜んでいただきました。
- (5) 堆肥場内の小試験農園においてシルバー堆肥、草堆肥を使った2種類の畝でダイコン、カブ、ニンジン栽培しました。雑草の発生状態はどちらも変わりなく、また野菜の生育も良い結果が得られています。

次に事業の収支面については、搬入された剪定材などの減少によるマイナス影響がある一方、シルバー堆肥の販売は、ほぼ前年同様好調に推移しています。今年も設備の老朽化対策、環境面での対策などに皆さまのご協力をお願いいたします。